

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 26 年 9 月 4 日 (2014.9.4)

【公表番号】特表 2013-533448 (P2013-533448A)  
 【公表日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-045  
 【出願番号】特願 2013-524153 (P2013-524153)  
 【国際特許分類】

F 1 6 H 7/08 (2006.01)

【 F I 】

F 1 6 H 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 16 日 (2014.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チェーンテンショナ用ブレードアセンブリであって、

第 1 の端部 (B 1) と、第 2 の端部 (B 2) と、前記第 1 の端部 (B 1) と前記第 2 の端部 (B 2) の間に伸びる中央部 (B 3) とを備え、

前記シュー (B) の前記第 1 の端部 (B 1) に画定されたピボット穴 (P B) と、

ばね受け領域 (R) 内にあるばね (S) と、

を備え、

中央部 (B 3) は、(i) 関連するチェーンに摺動可能に係合されるようになった外側表面 (O S) と、(i i) 前記外側表面 (O S) の反対側に位置する内側表面 (I S) とを備え、

前記シュー (B) の前記第 1 の端部 (B 1) は第 1 のばね受けスロット (L 1) を備え、前記シュー (B) の前記第 2 の端部 (B 2) は第 2 のばね受けスロット (L 2) を備え、

前記第 1 のばね受けスロット (L 1) と前記第 2 のばね受けスロット (L 2) と前記シュー (B) の前記内側表面 (I S) とが前記ばね受け領域 (R) を提供し、

前記第 1 のばね受けスロット (L 1) は、(i) 前記シュー (B) の前記中央部 (B 3) の前記内側表面 (I S) に離間して面する第 1 の下部壁 (L W 1) と、(i i) 前記シュー (B) の前面 (F F) に隣接して前記第 1 の下部壁 (L W 1) に接続された第 1 の外側壁 (W 1) と、を備え、

前記第 2 のばね受けスロット (L 2) は、(i) 前記シュー (B) の前記中央部 (B 3) の前記内側表面 (I S) に離間して面する第 2 の下部壁 (L W 2) と、(i i) 前記シュー (B) の前記前面 (F F) に隣接して前記第 2 の下部壁 (L W 2) に接続された第 2 の外側壁 (W 2) と、を備え、

前記ばね (S) は、(i) 前記第 1 のばね受けスロット (L 1) 内に位置する第 1 の端部 (S 1) と、(i i) 前記第 2 のばね受けスロット (L 2) 内に位置する第 2 の端部 (S 2) と、(i i i) 前記シュー (B) の前記中央部 (B 3) の前記内側表面 (I S) に接触している中央部 (S 3) とを備え、

前記第 1 のばね受けスロット (L 1) は、前記シュー (B) の背面 (R F) に隣接して前記第 1 の下部壁 (L W 1) に接続された第 1 の固定タブ (T 1) であって、前記シュー

(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)の方向に部分的に伸びかつ前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)から離間している第1の固定タブ(T1)を更に備え、

前記第2のばね受けスロット(L2)は、前記シュー(B)の前記背面(RF)に隣接し前記第2の下部壁(LW2)に接続された第2の固定タブ(T2)であって、前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)の方向に部分的に伸びかつ前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)から離間している第2の固定タブ(T2)を更に備え、

前記ばね(S)の前記第1の端部(S1)は、前記第1の外側壁(W1)と前記第1の固定タブ(T1)との間に配置され、

前記ばね(S)の前記第2の端部(S2)は、前記第2の外側壁(W2)と前記第2の固定タブ(T2)との間に配置される、

チェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項2】

前記第1の外側壁(W1)と前記第1の固定タブ(T1)はそれぞれ、前記第1の下部壁(LW1)から前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)に向かって途中までしか伸びず、前記第1の外側壁(W1)と前記第1の固定タブ(T1)が前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)から離間している、請求項1に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項3】

前記第2の固定タブ(T2)は、前記第2の下部壁(LW2)から前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)に向かって途中までしか伸びず、前記第2の固定タブ(T2)が前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)から離間している、請求項2に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項4】

前記第2の外側壁(W2)は、前記第2の下部壁(LW2)と前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)との間に伸びて両者を接続し、前記第2の外側壁(W2)は、その中に画定されたピン受け開口(O)を備えている、請求項3に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項5】

前記第1と第2の固定タブ(T1、T2)がそれぞれ、

前記シュー(B)の背面(RF)から前記シュー(B)の前面(FF)へ向かって伸びるに伴い、前記シュー(B)の前記中央部(B3)の前記内側表面(IS)に向かって伸びる傾斜部(IF)を含む外側面(OF)と、

前記外側面(OF)に直交する方向を向いた固定面(IF)と、

を備え、

前記第1の固定タブ(T1)の前記固定面(IF)は前記第1の外側壁(W1)に向かって離間しており、前記第2の固定タブ(T2)の前記固定面(IF)は前記第2の外側壁(W2)に向かって離間している、請求項1～請求項4の何れか1項に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項6】

前記第1と第2の固定タブ(T1、T2)のそれぞれの前記外側面(OF)は、傾斜面(IF)を前記固定面(IF)に接続する平坦面(FT)をさらに含み、前記平坦面(FT)は前記チェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリの組立時に前記第1と第2のばね端部(S1、S2)が前記第1と第2のばね受けスロット(L1、L2)へ入り込むことを可能とする、請求項5に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項7】

前記ばね(S)の前記第1の端部(S1)は前記第1のばね受けスロット(L1)の前記第1の下部壁(LW1)に当接し、

前記ばね(S)の前記第2の端部(S2)は前記第2のばね受けスロット(L2)の前

記第 2 の下部壁 ( L W 2 ) に当接する、請求項 5 又は請求項 6 に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項 8】

前記ばね ( S ) は、  
内側と外側の側端 ( E 2 、 E 1 ) と、  
第 1 と第 2 の終端 ( E 3 、 E 4 ) と  
を備えた一体の金属体を備え、

前記第 1 と第 2 の終端 ( E 3 、 E 4 ) は、直線または途切れのない曲線で連続的に画定され、前記第 1 と第 2 の終端 ( E 3 、 E 4 ) が前記第 1 と第 2 の終端 ( E 3 、 E 4 ) の全長に亘って前記第 1 と第 2 のばね受けスロット ( L 1 、 L 2 ) 内の前記第 1 と第 2 の下部壁 ( L W 1 、 L W 2 ) に連続的に隣接して伸びるようにになっている、請求項 7 に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項 9】

前記ばね ( S ) は、  
内側と外側の側端 ( E 2 、 E 1 ) と、  
第 1 と第 2 の終端 ( E 3 、 E 4 ) と  
を備えた一体の金属体を備え、

前記ばね ( S ) の前記内側の側端 ( E 2 ) は、前記ばね ( S ) の前記内側の側端 ( E 2 ) が前記シュー ( B ) の前記背面 ( R F ) から少なくとも隔離距離 D だけ離間するようにして、前記第 1 と第 2 の固定タブ ( T 1 、 T 2 ) の両方で前記ばね受け領域 ( R ) 内に捕捉され、

前記ばねの前記外側の側端 ( E 1 ) は、前記第 1 と第 2 の外側壁 ( W 1 、 W 2 ) により前記ばね受け領域 ( R ) 内に捕捉される、請求項 1 ～請求項 8 の何れか 1 項に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項 10】

前記シュー ( B ) は一体の高分子成形体を備える、請求項 1 ～請求項 9 の何れか 1 項に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項 11】

前記チェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ ( B A S ) が動作可能に取り付けられるブラケット ( K ) をさらに備え、

前記ブラケット ( K ) は、

前記シュー ( B ) の前記ピボット穴 ( P B ) 内に位置するピボットピン ( P ) と、  
ブラケット ( K ) の主壁 ( M W ) と、前記ブラケット ( K ) の主壁 ( M W ) から外方向に伸びる傾斜部 ( R ) と、前記ブラケット ( K ) の主壁 ( M W ) から離間した位置で前記傾斜部 ( R ) から伸びるブラケット ( K ) の外側壁 ( O W ) との間に画定される溝 ( C H ) と、

を備え、

前記シュー ( B ) の前記第 2 の端部 ( B 2 ) は前記溝 ( C H ) の中にあって前記傾斜部 ( R ) 上に支えられている、請求項 1 ～請求項 10 の何れか 1 項に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項 12】

前記第 1 と第 2 の固定タブ ( T 1 、 T 2 ) は、前記ばね ( S ) の内側側端 ( E 2 ) と前記ブラケット ( K ) の主壁 ( M W ) との間に最小の隔離距離 D を維持する、請求項 11 に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ。

【請求項 13】

( i ) 主壁 ( M W ) と、( i i ) 前記主壁 ( M W ) から外側に突出したピボットピン ( P ) と、( i i i ) 前記主壁 ( M W ) から外側に延びる傾斜部 ( R ) とを備えるブラケット ( K ) と、

前記ブラケット ( K ) に動作可能に接続された請求項 1 ～請求項 12 の何れか 1 項に記載のチェーンテンシヨナ用ブレードアセンブリ ( B A S ) と、

を備え、

前記第 1 と第 2 の固定タブ ( T 1 、 T 2 ) は、前記ばね ( S ) と前記ブラケット ( K ) の前記主壁 ( M W ) との間の空間を維持しかつ前記ばね ( S ) と前記ブラケット ( K ) の前記主壁 ( M W ) との間の接触を防止する、  
チェーンテンシヨナ。